

# 令和5年度予算編成方針

## 1. 基本的な考え方

長引くコロナ禍や急激な物価の高騰が、市民のくらしや本市の経済に深刻な影響を及ぼしている。また、加速する少子高齢化や若年層を中心とした人口流出、厳しい財政状況など、まちの再興に向け、克服すべき課題は山積している。

そのため、まずは徹底した行財政改革を断行し、人や企業が集まり、賑わう街へ、未来を創る子どもと若者のため、市民の生涯の健康と安心のために必要となる財源を確保していく。

その上で、日本の産業を支えた歴史や人と人との繋がり、豊かな自然など、まちが本来持つ力を結集し、企業や投資を呼び込み、子育てしやすい環境の整備や安心・安全に暮らせるまちづくりなど、「人口100万都市北九州の復活」、「稼げるまち」に向け、全市を挙げて果敢に挑戦していく。

各局室長はこの方針の趣旨を十分に踏まえ、強いリーダーシップの下、予算編成に取り組むこと。

## 2. 令和5年度予算における重点項目

令和5年度は、「人口100万都市の復活」「稼げるまち」への挑戦に向けた幕開けの年として、以下の5つの柱を予算における重点項目とする。

### (1) 「子育てしたくなる」「子どもがイキイキ育つ」環境づくり

- ①大胆な子育て支援
- ②未来を創る教育の推進

### (2) 高齢化・多様化でも安心・安定な生活を守る

- ①健康で長生きできる共生のまちづくり
- ②孤独・孤立対策の推進
- ③市民に寄り添う安全・安心で住みよいまちづくり
- ④新型コロナウイルス感染症への対応

### (3) 「わくわく・期待感」あふれるまちづくり、まちのイメージ一新

- ①人が集まり定住する魅力あるまちづくり
- ②スポーツ・文化で元気なまちづくり
- ③地域資源を活かしたにぎわいの創出
- ④結果を出す！広報・イメージアップ戦略の展開

### (4) 「若者を取り戻す」次世代・グローバル産業の誘致・強化

- ①環境に配慮した新産業の育成
- ②アジアをリードする物流拠点化の推進
- ③野心的な次世代産業誘致の強化やスタートアップ企業の創出・育成
- ④DXの推進

## (5) 安全・防災・防犯対策

- ①防災対策の推進など危機対応力の強化
- ②くらしを支える都市基盤整備の促進

### 3. 行財政改革の断行

本市の財政状況は、歳入面では新型コロナや急激な物価高騰の影響、人口減少などにより、市税収入など一般財源の伸びに限られる一方、歳出面では老朽化した公共施設やインフラの維持管理費、福祉・医療関係経費などの財政需要の増加が見込まれている。

また、公債費や市債残高の高止まり、光熱費や人件費、資材価格高騰等による行政コストの増加などを踏まえると、相当に厳しい状況が続くと見込んでいる。

このような状況の中、新たな政策の決定・推進にあたっては、既存の事業や取組を徹底的に見直し、財源や人的資源を確保し、それを原資として、時代のニーズに即した政策を強化する「財政の模様替え」を同時に進める必要がある。

また、様々な市民とのオープンで率直な「未来志向の対話」を通じて、理解と共感を政策に反映できるよう行政機能の強化も進めなければならない。

そのため、

- 令和5年度予算編成にあたっては、全ての事業について、歳入歳出の両面から事業の必要性や具体的な成果、費用対効果の視点により徹底的に内容を精査し、その内容を反映した予算編成を行うこと。
- 特に、既存・継続事業で、長期間事業内容等の見直しが行われていないもの、目的・成果が類似、重複するもの等は、前例踏襲に陥ることなく、廃止・統合・事業費削減等について検証した上で、真に市民生活の向上とまちの活性化に繋がる事業の充実・強化を図ること。
- 投資的経費については、公債費及び市債残高抑制の観点から進めてきた全市的な適正水準での重点化を令和5年度も継続するため、事業の選択と集中を図ること。

さらに、「官民合同チーム」を立ち上げ、官民連携により、民間目線での財政運営の見直しや予算の総点検、データ分析・マーケティング手法の導入などにより、時代に合わせた事業の見直し・再構築を進めていくこととしており、こうした観点での見直しについても、出来るものから着手すること。